

一色右馬三郎重之公参百八拾回忌正当法要

昭和63年(1988年)4月10日

法要：東海山長福寺
墓地参拝：三蔵院宝積寺
懇親会：万才楼
(壬生川本町)

桜花爛漫の候、重之公法要。
前日まで雨や曇天であったのが、当日は重之公の遺徳か雲一つない
爽やかな天気になりました。

午後一時、一色与三郎氏の司会で会長挨拶に続き事務局の電報披露。
そして、徳峰和尚、寿山閑栖和尚、同族会員全員で般若心経。続いて
観音経を唱和し、両和尚の読経の内、各自が焼香をする。元祖重之公も
末裔一族の供養に奥城で喜んでいる事であろう。

徳峰和尚が長福寺と一色家との関係の話をされ、本堂前で両和尚を
交えた記念撮影をして寺での行事を終了。

懇親会(精進落とし)では会長挨拶の後、副会長の音頭で献杯をして
事務局の経過報告、参加人員、御供料の氏名等々、役員氏名紹介、
会員の自己紹介等。宴会も盛り上がり、カラオケ演歌あり、チークダンス
ありで、会員個々に親睦を深め、又の再会を約し解散しました。

豫州三津屋重之流一色同族会 事務局 一色明義



一色右馬三郎重之公参百八拾回忌追善供養記念 S63.4.10